



平成25年度ハブクラゲ発生注意報発令！

本県の海は、猛毒を持つハブクラゲが生息し、一年のうち6月はじめ頃から人体に影響を及ぼす大きさに急激に成長します。この時期は、海水浴、マリンレジャー等で海への出入りが多く、刺症被害も多く発生します。

平成24年度は、ハブクラゲ等海洋危険生物による刺咬症被害234件の内、83件（約35%）が、ハブクラゲによるものです。そのうち67件（約80%）がハブクラゲ侵入防止ネット外（又はネット未設置）で発生しています。

ハブクラゲ刺症を未然に防ぐには

- ① 海水浴をする場合は、ハブクラゲ防止ネットの内側で泳ぎましょう。
- ② 遊泳中には、できるだけ肌の露出を避けましょう。
- ③ 海に出かける時は、酔（食酔）を持参しましょう。

ハブクラゲに刺された場合は次のように落ち着いて対処しましょう。

- ① まず海から上がり、激しい動きをしないで近くの人に助けを求めましょう。
- ② 刺された部分はこすらずに、酔（食酔）をたっぷりかけて触手を取り除きます。
- ③ 氷や冷水で冷やしましょう。
- ④ 医療機関で治療を受けましょう。

水難事故発生状況（平成25年6月10日現在）

カッコ内は子供（中学生以下）

	平成25年度			平成24年度			増減		
	発生	死者数	行方不明	発生	死者数	行方不明	発生	死者数	行方不明
県民	9 (1)	6	0	9 (2)	4	1	0 (-1)	2	-1
観光客	4 (1)	3	0	3	2	0	1 (1)	1	0
米軍	0	0	0	1	0	0	-1	0	0
総数	13 (2)	9	0	13 (2)	6	1	0 (0)	3	-1

《特徴》 ◎4月以降発生した事故6件のうち4件が観光客の事故。

◎発生件数は前年と同数、死者・行方不明者数合計は前年から2件増加。